

## 事業概要

応募No.	5		
事業主体	福島県	事業箇所	南相馬市原町区旭町地内
応募者名	福島県相双建設事務所		
ふりがな 事業名称	じゅうようかんせんがいろじぎょう 3・4・102ごう えきまえきたはらせん 重要幹線街路事業3・4・102号駅前北原線		
事業概要 (400字以内)	<p>駅前北原線は南相馬市の中心部に位置するJR常磐線原ノ町駅と国道6号を結ぶ主要幹線道路であり、駅周辺交通環境改善計画に位置づけられている。</p> <p>当該区間は幅員狭小区間であり、平成20年の県道小浜字町線の供用により本区間がボトルネックになるため、その解消を図る必要があった。同時に市が計画している原ノ町駅前広場整備と一体となり交通結節点の機能強化を図ることを目的として、平成17年度に事業認可を取得し、事業を実施した。また、緊急輸送道路に指定されている、防災上重要な路線であり、地震等の大規模災害発生時にも円滑な交通を確保できるよう、道路拡幅および無電柱化を行い、令和6年度に抜柱が完了した。</p>		
事業規模	事業延長(km)	L=0.58km	
	幅員(m)	約6.0(16.0)m	
	事業期間(和暦)	平成17年度～令和6年度	
	事業費(億円)	約26億円	
受賞歴	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		
URL	-		

# 事業位置図

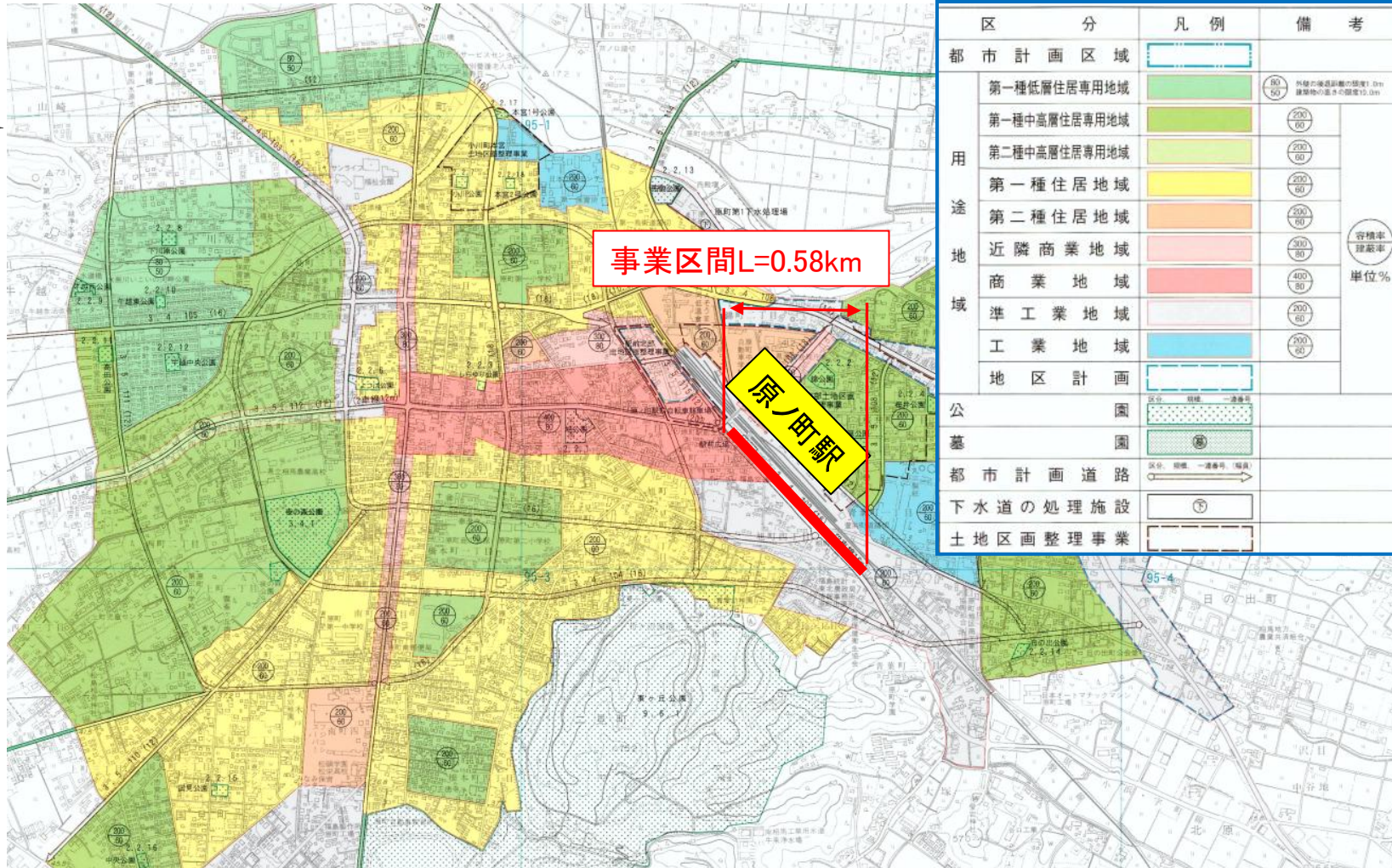


都市計画図(用途地域図)

至 仙台



至 福島



事業区間L=0.58km

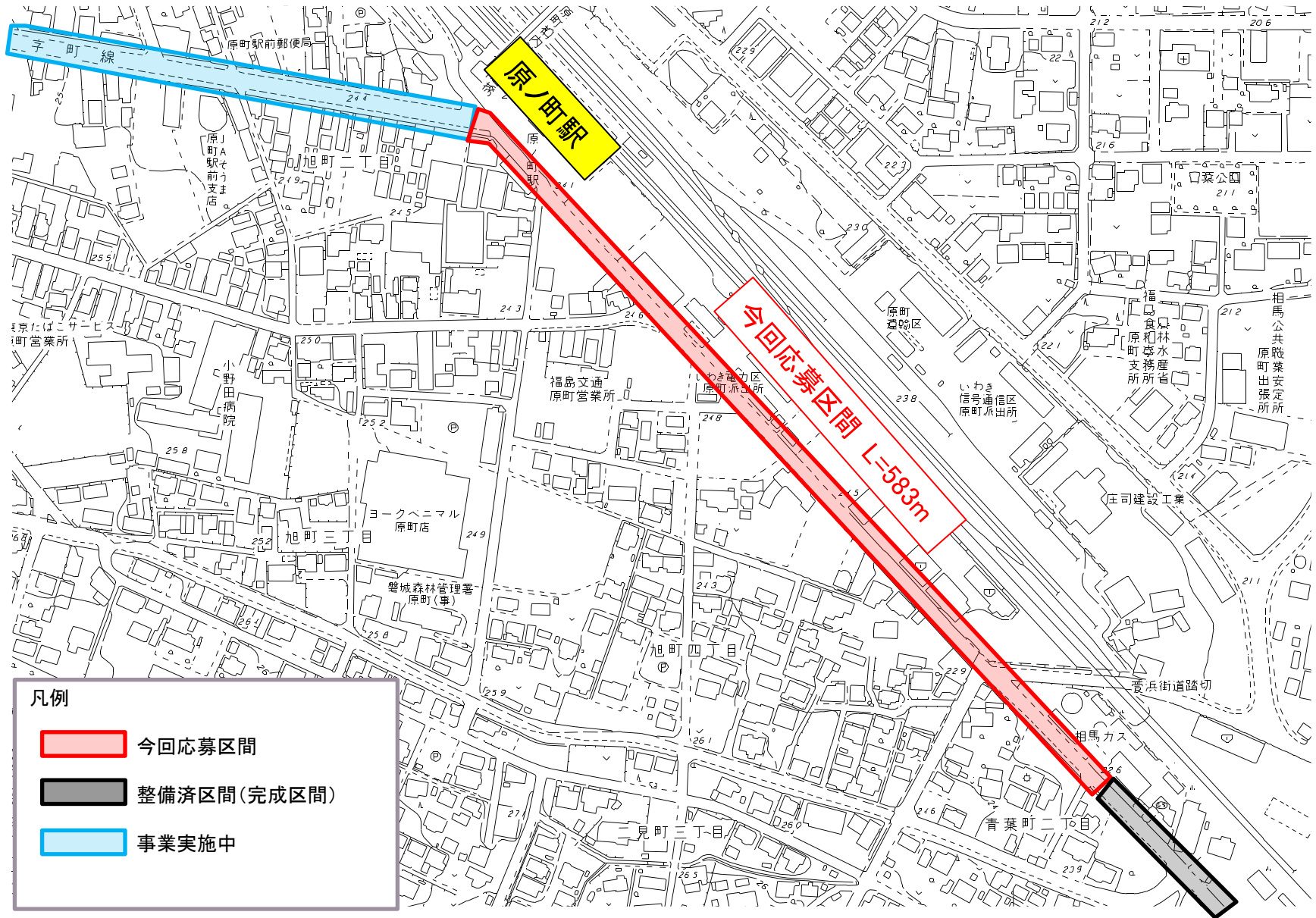
原ノ町駅

区分	凡例	備考
都市計画区域	[Blue outline]	
用途地域	第一種低層住居専用地域	(50/50) 容積率 建築高さの限度1.0m 建築地の区分の制限10.0m
	第一種中高層住居専用地域	(200/60)
	第二種中高層住居専用地域	(200/60)
	第一種住居地域	(200/60)
	第二種住居地域	(200/60)
	近隣商業地域	(300/80)
	商業地域	(400/80)
	準工業地域	(200/60)
	工業地域	(200/60)
	地区計画	[Dashed blue outline]
公園	[Green dotted pattern]	
墓園	[Green cross-hatch pattern]	
都市計画道路	[Red arrow]	
下水道の処理施設	(S)	
土地区画整理事業	[Dashed black outline]	

至 東京

# 路線全体の進捗状況

至 仙台

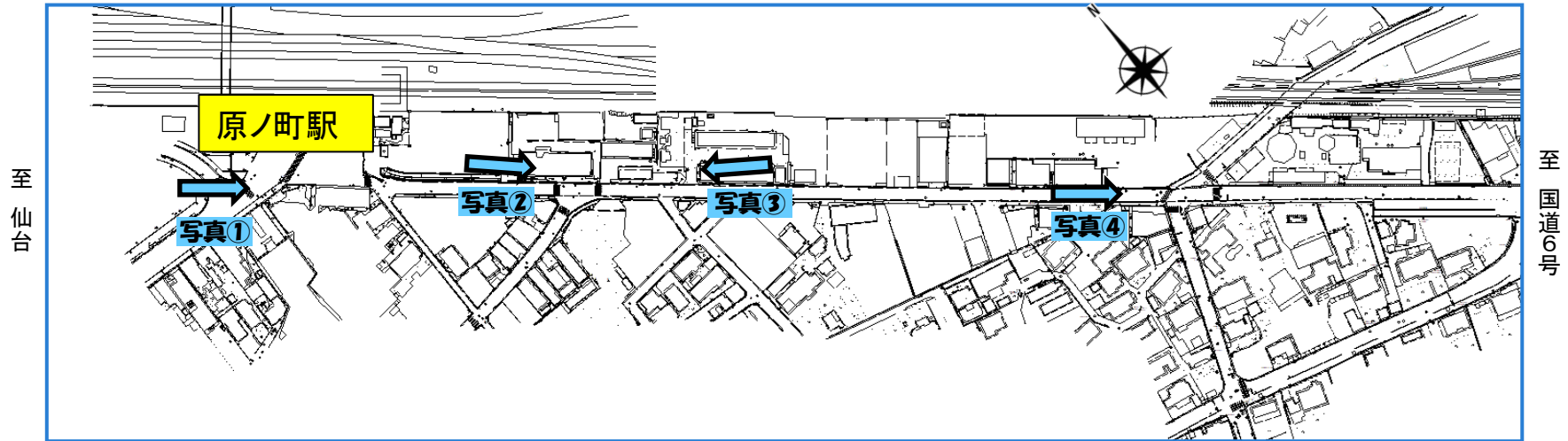


凡例

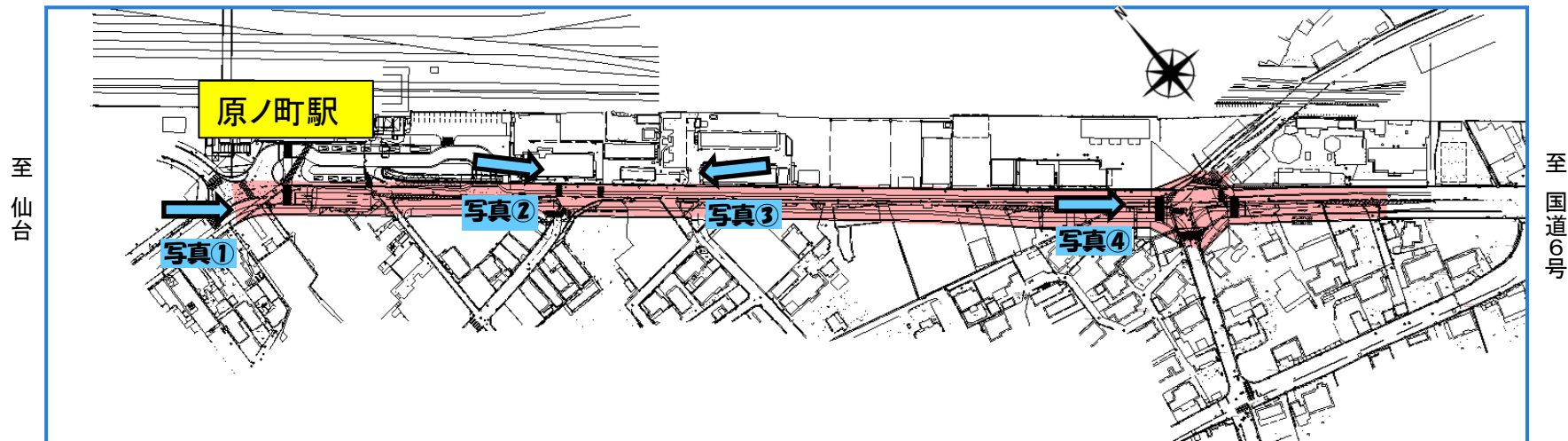
- 今回応募区間
- 整備済区間(完成区間)
- 事業実施中

平面図

事業前

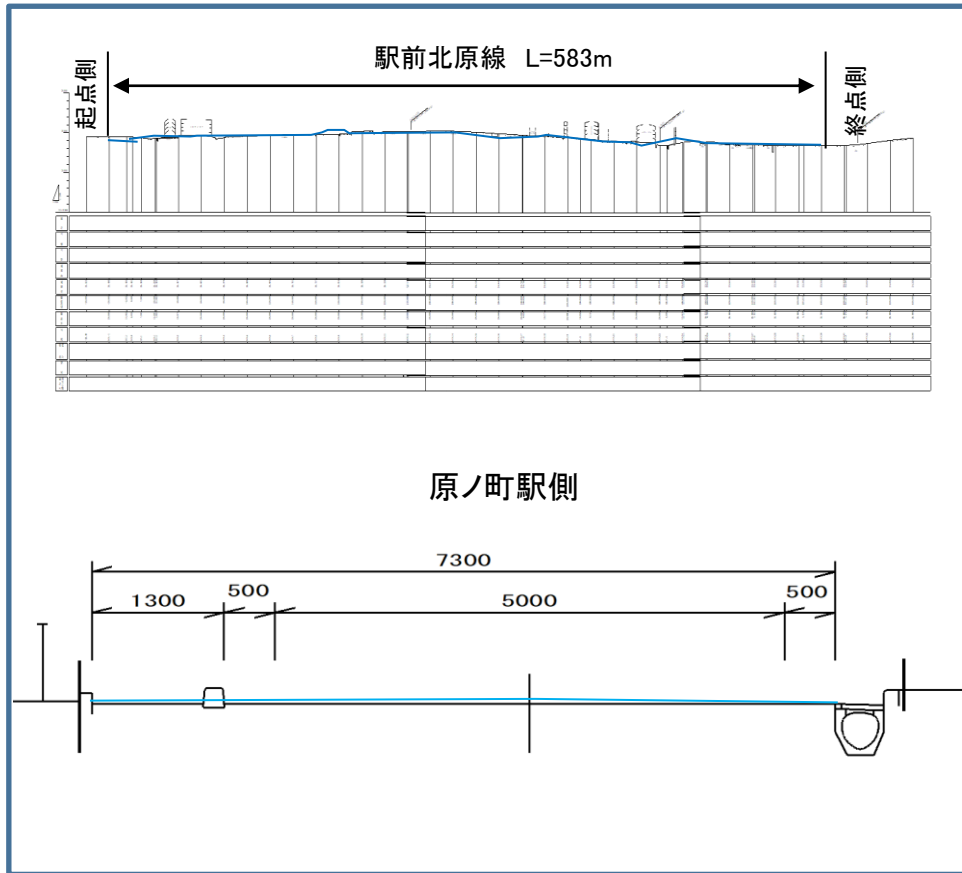


事業後

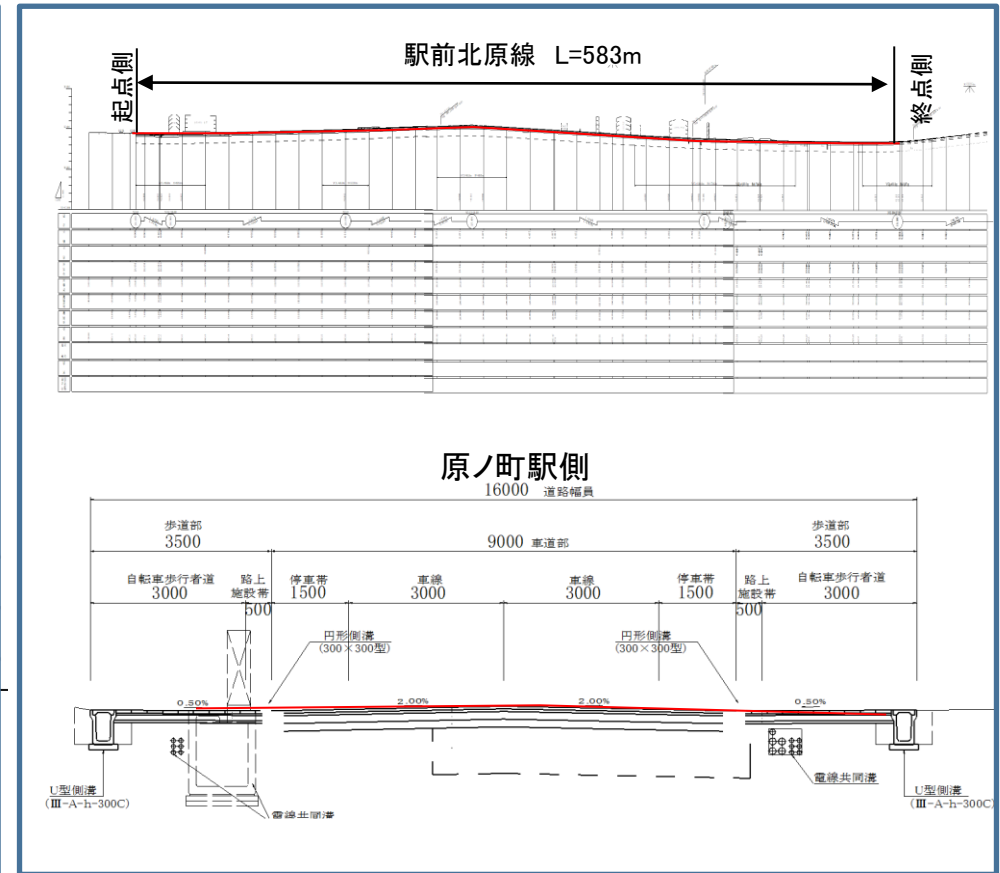


縦断図・横断図

事業前



事業後



# 事業前写真

# 事業後写真

福島県：(都) 駅前北原線



# 事業前写真

# 事業後写真

福島県：(都) 駅前北原線



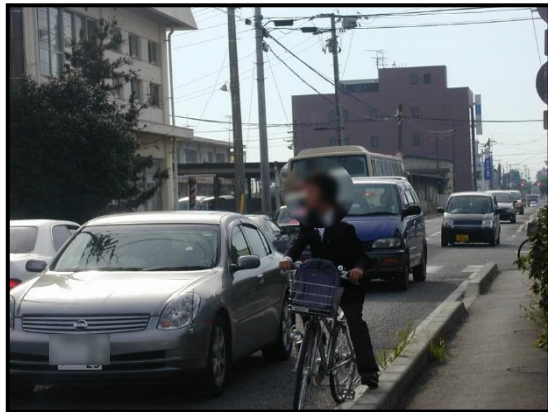
事業効果アピール資料

○歩行者等の安全性・快適性向上

整備前は歩行者や自転車のすれ違いが困難であり、危険な状況であった。

➡道路拡幅により広い歩道を確保し、安全で快適なゆとりのある歩行空間となった。

整備前



整備後



至 国道6号



○防災性の向上

電線共同溝による無電柱化により、電柱倒壊による通行止めの回避や二次災害の防止を図り、緊急輸送道路として防災機能が向上した。

整備前



整備後



至 国道6号



## 事業効果アピール資料

## ○地元関係者の声 ～まちの顔としての道路整備～

- ・JR原ノ町駅、駅前広場、道路、ホテルなどの周辺建築物が一体となった整備により、JR原ノ町駅周辺の景観は、自然と都市が調和した穏やかな雰囲気になった。
- ・駅前広場や駐車場との一体整備により鉄道利用者や観光客が利用しやすくなった。
- ・県道では新たな歩道設置により宵まつり（相馬野馬追祭りの前夜祭）を観覧する人の安全が確保された。
- ・これまで国道6号へ向かう際、渋滞が発生していたため利用を避けていたが、今回の交差点改良により渋滞が解消され、利用しやすくなったことで交通量は増えたように感じる



原ノ町駅前広場オープニングセレモニー



宵まつりの様子①



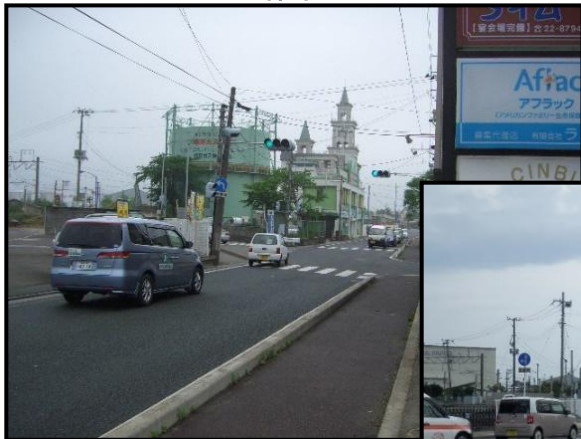
宵まつりの様子②

## 苦勞や工夫等アピール資料

## ○JR踏切近接交差点改良 ～安全で利用しやすい道路空間～

- ・JR常磐線の踏切から距離が近いため、左折車両の溜流により渋滞が起きていた。  
➡ 道路拡幅に併せ、右折レーン設置により交通渋滞の緩和を図った。
- ・県道と市道が交差する場所であるため、整備内容や施行区分について、南相馬市と適宜調整を行いながら事業を進めた。  
➡ 整備に時間を要したが、南相馬市と一体となった事業を実施した。

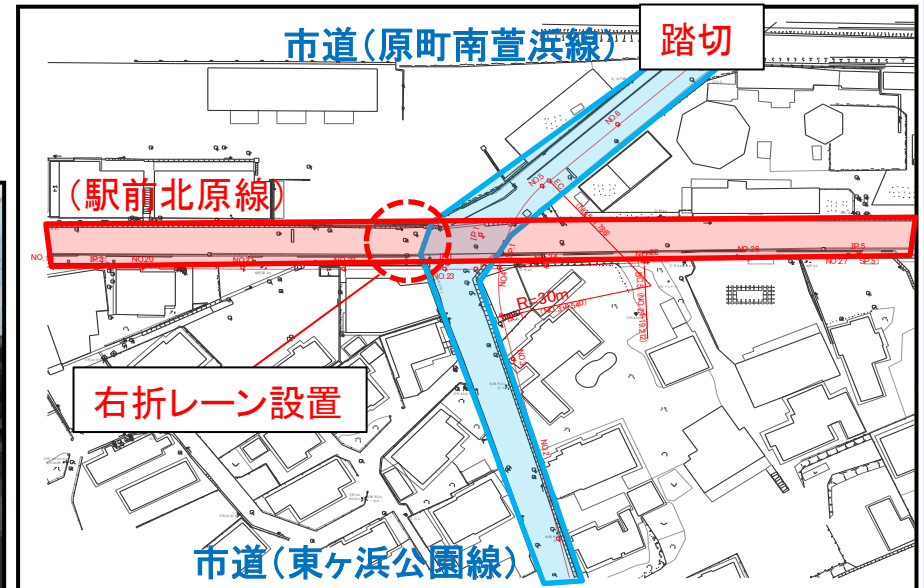
整備前



整備後



至 国道6号



## 苦労や工夫等アピール資料

## ○都市空間の形成 ～無電柱化による景観整備～

- ・駅入口の交差点改良時に、照明灯・信号機を集約するなどの無電柱化により、都市空間の形成、景観や防災機能の向上を図った。
- ・無電柱化の工事は、既存のガス管、水道管の移設と同時施工となった。施工箇所は幅が狭く、掘削深さ2mにガス管、水道管、電線共同溝を施工する難しい工事であった。
- ・下水道については路面排水の接続が多数あり、埋設物との高さ調整に苦労したが、南相馬市との調整により事業の進捗を図った。



整備前(原ノ町駅前)



整備後(原ノ町駅前)



整備後(起点より)